

パブリック・コメントの実施結果について

1 パブリック・コメントの実施概要

- (1) 実施した政策等 大垣西インターチェンジ周辺道の駅等整備基本方針(素案)
- (2) 実施期間 令和8年4月1日(水)～令和8年4月30日(木)
- (3) 実施方法 「大垣市パブリック・コメント手続要綱」によるもの
- (4) 意見提出者数 20人
- (5) 意見提出件数 30件(提案・意見:22件、賛同:8件)

2 道の駅等整備基本方針(素案)に係る意見の概要等について

No.	意見の概要	市の考え方(対応)
1	防災拠点としての活用について大いに賛成します。	P.22「7 導入機能方針 (3) 本市が目指す道の駅における導入機能のあり方」において、「防災機能」を一つの重要な柱として位置付けています。 広域的な支援・受援の拠点としての機能を備えるとともに、本市西部の地域防災拠点としての役割を担えるよう、必要な機能の導入・充実を図ってまいります。
2	道の駅の整備に賛成です。大型犬が走り回れるドッグランを併設していたけるとありがたいです。	P.23「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、ドッグランの導入を想定しています。周辺住民や旅行者がペットとともにゆとりある時間を過ごせる憩いの空間の創出を目指し、フェーズ1からの整備を視野に入れ、民間事業者や利用者の声を取り入れながら検討を進めてまいります。

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
3	チャレンジショップの整備に賛成します。 出店コスト低減や期間明確化の検討状況と、ビジネスコンテストによる優遇出店機会の導入について市の見解を伺います。	P. 23「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、チャレンジショップの導入を想定しており、出店者の初期負担軽減や出店期間の明確化が意欲ある事業者の参入を促すうえで重要と認識しています。 今後は、フェーズ1からの整備を視野に入れ、具体的なサウンディング型市場調査を予定しており、運営条件や優遇出店機会の導入等のあり方について、民間事業者等の意見を幅広く取り入れながら検討を進めてまいります。
4	イベントスペースの整備に賛成します。 民間・市民団体への貸し出しを含む運用の検討状況と、利用条件・運営主体の現時点での想定をお伺いします。	P. 23「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、イベント広場や多目的交流スペースの導入について想定しており、これらは、市内をはじめとする各種団体や民間事業者等による幅広い活用を念頭に置いています。 今後は、フェーズ1からの整備を視野に入れ、具体的なサウンディング型市場調査等を予定しており、利用条件や運営主体のあり方も含め、民間事業者をはじめ市民の皆さまの意見を取り入れながら検討を進めてまいります。
5	国有地の利活用として、スケートボード場など、子どもや若者が楽しめる広場の整備を希望します。	P. 23「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、アーバンスポーツ場の導入を想定しています。 誰もが気軽に立ち寄り、スポーツや遊びを通じた地域交流の場として、フェーズ1からの整備を視野に入れ、民間事業者や利用者の声を取り入れながら検討を進めてまいります。

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
6	金生山の大理石の壁に水で絵や文字を描く水書き体験スペースを作ってもらえるといいなと思います。 乾けば消える仕組みで繰り返し楽しみ、地場産業のPR・水の都ブランド発信につながると思います。	P. 23「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、親水広場等の導入を想定しています。 いただいたご意見は、金生山の大理石という地場産業の素材を活用した体験コンテンツとして、地域の産業・文化への理解促進や水都大垣のブランド発信につながる、大変参考になるご提案と受け止めております。 本ご意見も含め、関係機関や民間事業者の知見も幅広く取り入れながら、地域の特色を生かした魅力あるコンテンツの実現に向けて検討してまいります。
7	年齢別に遊べる室内施設（低年齢向けおもちゃ・ボードゲーム・体を動かせるスペース）と、水の都・大垣らしい屋外水遊び場があるとうれしいです。	P. 23「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、子どもの遊び場（室内を含む）や親水広場等、子ども連れが楽しく滞在できる機能の導入を想定しています。
8	屋根付き駐車場や室内遊び場・カフェに加え、夏は水遊び、春秋はピクニックができる芝生エリアなど、子ども連れが雨天を問わず楽しめる施設整備を希望します。	子どもたちが安全・快適に過ごせる環境を第一に、屋根付き休憩スペースや空調を備えた屋内遊び場、水都大垣ならではの水遊びスペースなど、幅広い年齢層の子どもたちが楽しめる具体的な機能について、市民の皆さまの意見や民間事業者の意見を取り入れつつ、実現可能なものからフェーズ1での整備検討を進めてまいります。
9	子ども連れでも安心して過ごせるよう、屋根付き休憩スペースや空調完備の屋内遊具施設の整備を希望します。また、子どもが安全に遊べる水遊びスペースの設置とともに、保護者が見守りやすい安全な動線の確保もお願いします。	
10	子どもたちが雨風をしのいで、安全に走り回り遊べるような場所があるとありがたいです。	

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
11	レンタサイクルがあると、車を停めてちょっとした観光ができるため良いと思います。また、大人を対象とした自転車は多く見受けられますが、チャイルドシート付きなど子どもも乗れるものがあるとありがたいです。	P. 23「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、サイクルステーションの導入を想定しており、チャイルドシート付き自転車など家族向け車種の充実も重要な視点と受け止めています。 高速道路サービスエリアとの連携による広域的なサイクリングルート形成についても、周辺地域の観光資源を活用した魅力ある取組みと考えます。 フェーズ1での導入を視野に、関係機関・事業者等と連携しながら整備検討を進めてまいります。
12	県内の高速道路サービスエリアと連携してレンタサイクルを配置し、関ヶ原・養老・谷汲等、県内の観光地を自転車で気軽に巡れる仕組みを構築してほしい。	
13	大垣西インターチェンジ周辺の農地と観光エリアの接点化を見据え、アグリパーク構想など、農業体験・交流促進との連携について、市としての支援・方向性をお伺いします。	P. 24「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、農業文化に関する体験施設等の導入を想定しています。大垣西インターチェンジ周辺に広がる豊かな農業資源を生かし、道の駅等と連携した農業体験・交流の場として一体的に整備することで、農業振興と観光交流の促進を図ります。 今後は関係機関や民間事業者の意向及び県のアグリパーク構想への参画も視野に入れながら、具体的な施設整備の検討を進めてまいります。
14	道の駅における農産物販売は非常に重要であると考えます。 道の駅での魅力的な農産物開発・販売の方針と直売所との差別化、また大垣の梨の歴史的価値を生かしたPR・ブランド化の考えをお伺いします。	P. 24「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」では、農産物販売所・6次産業化施設等の導入を想定し、道の駅を本市農業の魅力発信拠点と位置付けます。 独自の魅力を創出する観点から、品揃えや販売方法を工夫するとともに、お米・梨等を用いた6次産業化製品の開発を推進します。特に大垣の梨の歴史的価値は非常に重要であると認識しており、具体的には今後、農業関係団体・生産者・民間事業者と連携し、付加価値ある販売の仕組みを構築してまいります。

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
15	垂井・大垣駅の間という立地を生かしたバスターミナルの整備を望みます。また、名古屋・関西方面への高速バスの運行があるとありがたいです。	P. 24「7 導入機能方針 (4) 想定する導入機能」において、バスロータリーの導入を想定しており、公共交通アクセスの充実は利便性向上や持続可能な観光・交流拠点の形成に重要と認識しています。 交通事業者や関係機関と連携しながら、フェーズ1で実現可能な交通機能から優先的に導入・整備を進めてまいります。
16	平和堂ノースウエストが閉店し困っているため、同様の機能を有する商業施設を誘致してほしい。	P. 58「4 道の駅と一体的に機能する周辺土地利用 (2)集客を基軸とした周辺土地利用のあり方」では、道の駅フェーズ2と複合的な商業施設等を一体的に整備することも視野に入れて検討しています。 周辺住民の皆さまにとっても暮らしやすい地域の実現を目指してまいります。
17	大垣西インターチェンジ周辺における地域振興につながる施設整備の推進を要望します。 まもなく迎える市制110周年という節目に向け、早期実現を強く期待します。	P. 64「6 整備スケジュール」において、フェーズ1については、5年以内の整備を目指すものとしています。 市としても市制 110 周年を迎える令和 10 年度を大きな契機として考えており、可能な限り早期に供用できるよう取組を進めてまいります。
18 ～ 25	本計画に賛同する。	—

3 その他

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
26	高速道路利用者がインターチェンジ周辺に立ち寄りやすい環境を整え、地域への誘客につなげる施策についても検討してはいかがでしょうか。	今後予定される東海環状自動車道の全線開通により交通量の増加が見込まれる中、ETC2.0一時退出制度など地域への誘客促進を関係機関と連携しながら、引き続き検討してまいります。

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
27	高速道路からも一般道からも入れるようにしていただきたいです。	高速道路からのアクセス動線につきましては、これまで関係機関と協議・検討を重ねてまいりましたが、道路構造上の諸課題等があることから、引き続き慎重に検討してまいります。 一般道からのアクセスにつきましては、利便性高いアクセス環境の整備に向けて、計画的に検討を進めてまいります。
28	本事業に対し税金を投入することによる収益計画をどのように考えていますか。	道の駅を核とした拠点整備により、交流人口の拡大、民間投資の誘発などにより、地域内消費の拡大等を見込んでおり、今後の事業の具体化にあわせ収益計画についても検討を行ってまいります。
29	平日の日中に利用が難しい働く世代にとって、営業時間によっては利用しづらいため、そうした住民にとってもメリットを感じられる施設としてほしい。	大垣西インターチェンジ周辺では宅地化が進んでおり、周辺住民による日常的な利用需要が見込まれると考えております。 このため、営業時間を含め、地域の実情を踏まえた住民にとって利用しやすい施設のあり方について、民間事業者や利用者の声を取り入れながら検討を進めてまいります。
30	騒音や迷惑行為への対応をどのように考えていますか。	当該土地利用検討に関しては、周辺住民の皆さまの生活環境に悪影響を及ぼさないことを重要な課題であると認識しています。 具体的には今後の施設計画において、動線や配置計画、運用方法について詳細な検討を行い、適切な対応を講じてまいります。